

令和4年度

久留米市男女共同参画社会づくり表彰

団
体

ボナペティ

活
動
内
容

「ストップ！子どもの食と心の貧困」をテーマに、ひとり親世帯や経済的に困窮している世帯に、食材等を支援しています。特に、子どもたちが、食の貧困だけでなく心の貧困に陥らないように、多くの人と関わる機会等を提供しています。

受賞の理由

- ・市内のフードドライブ等の団体に先駆けて、2014年に活動を開始し、子どもの食と心の貧困を解決すべく、生活困窮世帯等に、食材等の生活必需品を提供している。
- ・困窮状況や支援の必要性を広く啓発することで、多くの個人や団体等の協力を繋がっている。
- ・支援対象世帯のうち、約9割がひとり親(母子)世帯であり、経済的に困窮している女性の社会参加継続に向けた支援活動に寄与している。

ストップ！子どもの食と心の貧困

『ボナペティ』とはフランス語で「召し上がれ」という意味です。ボナペティの活動は、2014年6月より「子どもの貧困」について月1回の勉強会から始まりました。

その年の10月から、毎月「家に帰ってもごはんがない」というひとり親家庭の受験生を対象にした無料塾へ、おにぎりの差し入れを行っています。また、2015年からは、長期休暇期間に学童保育所などで調理をする「おとなとこどものひるごはん」や、困窮世帯へのフードドライブを開始しました。さらに2018年からは、多世代食堂の「ぎおんさんの森食堂」を毎月開催するなど、子どもを中心に、様々な方の食と心の貧困の防止のため、活動しています。



企業から食材などを受け取る佐藤会長（右）



「ぎおんさんの森食堂」の様子



大学生とフードドライブの準備

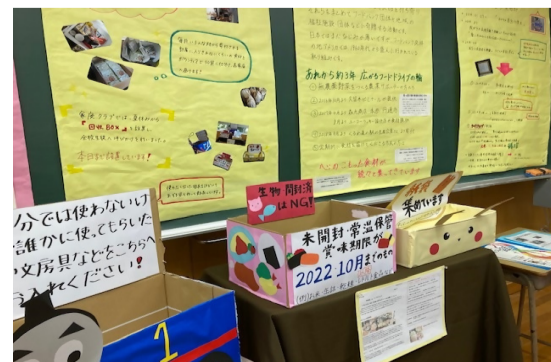
つながる支援

ボナペティの支援する世帯は、単身女性世帯、単身男性世帯などを含めると約100世帯になります。そのうち、約9割が母子のひとり親世帯です。支援している世帯の困窮状況や支援の必要性を広く啓発することで、多くの個人や団体等の協力を繋がっています。年々、支援者が増加し、今では多くの方が、食材や紙おむつ・生理用品等の生活必需品を提供しています。また、高校生や大学生もボナペティの活動に賛同し、フードドライブの食材の仕分けや、子どもたちとのハイキングなどの活動を行っています。

食材と一緒に、「応援している」という支援者の思いも届けることで、多くの方が自己肯定感や幸福感を持ち、次の一歩へとつながっていきます。



子どもたちと大学生との高良山ハイキング



高校生が手作りしたフードボックス



(問合せ先) 電話：090-2096-3741

メール：bona.kurume@gmail.com

(事務所) 住所：久留米市御井朝妻1丁目11-21
カーサエスメラルダB棟101号室

(活動内容) HP：https://www.bona-kurume.net/